

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ウォーターフォード工科大学 (アイルランド)		
所属プログラム・ 学部・研究科	School of Humanities, Languages and Tourism		
報告書提出日	2019年9月28日		
留学予定期間	2019年9月～2019年12月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 2120 (EUR) /合計

航空券代： 173,980 (円) /合計

ビザ申請関連費： 300 (EUR) /合計

その他 ( ): ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 3000 (EUR) /合計

2月上旬：奨学金申請のための書類提出

3月中旬：情報収集のために I Love Ireland Festival というイベントにボランティアとして参加  
留学経験のある人やアイルランド商工会議所の方々に話を聞いた

5月上旬：International Exchange Application の登録  
Learning Agreement の提出（希望履修科目を書く必要がある）

6月中旬：クレジットカード・国際キャッシュパスポートの作成、  
海外旅行保険の書類提出、航空券の予約

7月上旬：予防接種一回目(A・B型肝炎、おたふく)

7月下旬：City Campus Accomodation の部屋の確保ができたと連絡がくる  
Online Registration の方法等が記載されたメールが届く

8月上旬：寮のオンライン申請を行い、寮費€2,070 を海外送金、予防接種二回目

8月中旬：残高証明書の発行

8月下旬：Registration fee(€50)を払う、寮に関する情報・Licence Agreement が届く  
寮の寝具を依頼する(€30)

#### ◇大変だったこと

・6月頃から寮の申請のために留学先へメールをしていたが返信がなかなか届かなかった。また1 Semester だけのため部屋の確保が厳しいと伝えられ寮以外の宿泊方法も調べ、仮予約のメール等もした。出発1か月前まで宿泊先が決まらず大変だった。早い段階で留学先に自らメールで連絡を取ったり、国際センターに手続きの進行状況について確認をしたほうが良い。

・海外送金の際にマイナンバーカードの提示が必要。私の場合、本籍が実家にあるためマイナンバーカードに記されている住所と銀行登録済住所が異なり、どちらかに統一しなければいけないと言われ、住所変更届を提出することになった。かなり時間がかかったので、事前に確認等しておくべき。

## 1.2. 渡航について

経路：成田→ヘルシンキ(約 10 時間)、ヘルシンキ→ダブリン(約 3 時間)  
ダブリン到着日；空港→Hoiday Inn Express Dublin City Centre(ホテル)  
◎移動手段：aircoach(バス) Adult Single €7.00 (約 25 分)

移動日：ダブリン(Busaras)→ウォーターフォード(Waterfor Bus Station)→Waterford Marin Hotel

◎移動手段：Bus Eireann(バス) Student Single €14.50 (約 2 時間半)

各街停車のバスで、道は細く曲がりくねっている。

運転は荒めで酔いやすい人は気を付けたほうがいい。

バス降車後は節約のためホテルまで徒歩(約 20 分)

移動日：Waterford Marina Hotel → City Campus Accommodation

◎移動手段：バスで移動したが降りるバス停を間違え、30 分歩くことになった。

途中で現地の老夫婦が声をかけてくださり、車で寮まで送ってもらった。

ホテルからは徒歩 20 分ほどで着くだろう。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

#### ◎入寮手続き

事前に伝えていた到着予定時刻よりも 1 時間半ほど早かったが快く受け入れてくださった。

受付で名前を伝え、メールで送られていた Licence Agreement を記入し提出。

寮入口・部屋・エレベーターに乗る際に使用する IC カードを渡される。

Wi-Fi の設定には受付で教えてもらえるメールアドレスが必要。

※日本出発後に Licence Agreement を受け取ったため印刷ができていなかったが、受付に伝えたとこ、印刷、その場で記入・提出をすることができた。

#### ◎設備

個人部屋：デスク、ベッド(事前申請の寝具€30)、クローゼット(全身鏡付)、シャワー、トイレ、洗面台、ヒーター、コンセント 4 か所、ごみ箱

リビング：テレビ、机、イス、ソファ、キッチン、冷蔵庫、オーブン、トースター、ケトル、皿、カトラリー、コップ、ごみ箱

#### ◎気づき

個人部屋：ドアはカードロック式だが、締まりが悪いので荷物管理には注意が必要。土足で入るため少し埃っぽい。トイレトペーパーは部屋によっては用意されていないところもある。窓は締まりが悪く、下層階の場合は気を付けたほうが良さそう。

リビング：電気が 2 か所あるが 1 か所切れていたのと、テレビの配線が壊れていたため、スタッフに伝

えた。掃除用具あり。洗剤等はないため買う必要がある。

#### ◎洗濯

Laundry room に持っていくと担当のスタッフが対応してくれる。8kg/€5 と高めなのでルームメイトと合わせて洗濯をしている。

#### ◎ごみ捨て

寮内にごみ捨て場があるので、各自で持っていく。ゴミ袋は自分たちで用意。

※寮側の配慮か、ルームメイトはすべて日本人。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

9/4～9/10 大学のウェブサイトで GNIB 登録に必要な書類の申請をする

9/13 申請書類を受け取る、Garda(警察署)の Immigration Unit に予約メールを送る

9/18 Immigration Unit から予約完了メールが届く

10/14 手続きを行う(予定)

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/4 オリエンテーション：学生証の発行・使い方、学校案内、GNIB 登録の説明など

ウェルカムパーティー：学校併設の会場でダンス、DJ がいる、多国籍の留学生が集まる

9/6 学校案内：9/4 とは別のキャンパスの学校案内(School of Humanities の学生のみ)

9/9 授業スタート（神大同様、1 週目はオリエンテーション授業のようなスタイルである）

9/12～9/23 履修登録期間

※Learning Agreement で希望履修科目を書く際に Semester1(Spring)から選択したところ、国際センターからは Semester 2(Autumn)の中から選択するように言われた。しかし実際には Semester 1(Spring)が今期の開講科目であった。新規校で前例がないためダブルチェックをするべきだった。また、履修要覧(Module Listng) には誤って表記されている箇所が極稀にあるのでよく確認をしたほうがよい。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

現時点での TOEIC スコアが 665 点なので、留学終了後に TOEIC760 点以上を取得することを目標とする。スコア以外の面では、自分の考えを簡単な英語でも即座に伝えられるようになること、観光業についての理解を深めることを今回の留学の主な目的とする。特に会話面では、相手の話す文法や単語の意味を深く考えることなく、自然と内容が理解できるようリスニング力を身につけたい。学業面は、興味のある分野について学ぶことができるので、基礎知識を深めることと、文化や地域性による違いなどを日本と比較しながら学習を進めていきたい。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

出発前の期間には、積極的に BBC ラジオを聞いてイギリス英語に耳を鳴らす練習をしたり、日常会話に触れるために海外映画を見た。現地で生活をしてみて、人によって英語のなまり具合には差

があるが、アイリッシュの多くは早口なため聞き取りにかなり苦戦している。特にアイリッシュの学生はかなり略語や若者言葉を使っているようで、ゆっくり話してもらっても会話がスムーズにいかず難しい。少しずつ慣れていきたい。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

授業が始まりリスニングに関しては苦戦する面もあるが、授業内容自体は想像していたよりも理解ができています。その一方で授業中に先生から問いかけられた時に発言が全くできていないので、自分の意見を即座に言えるようにしていきたい。また、少しずつアイリッシュや留学生の友達が増えてきたので、積極的に交流をはかっていきたい。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	
火	9:15~11:15 Spanish B1.1, 14:15~15:15 Tourism Studies
水	9:15~10:15 Guiding, 10:15~11:15 Spanish B1.1, 12:15~14:15 Guiding
木	15:15~17:15 Tourism Studies
金	
土	
日	

### 4.2. 授業について

#### ①Spanish B1.1 (60分/1コマ)(3コマ/週)

授業形式：講義型

評価方法：Written (70%) Oral(30%)

10月… 2回 Written 課題提出(20%, 20%)、 12月…Oral(6~7min., 30%)、Written (30%)

特徴：スペイン人教授なので、説明の英語にところどころスペイン語が混じる。話すスピード・授業進度はゆっくり。丁寧で分かりやすい説明。質問がしやすい環境である。提出課題は事前に教授にメールを送れば添削してもらえる。現段階での授業は神大で学んだ範囲なので理解できている。

アドバイス：授業は現在形の復習から始まるため、基礎知識として現在形文法を知っている必要がある。

#### ②Tourism Studies (60分/1コマ)(3コマ/週)

授業形式：講義型、教授から与えられる問いについて考える

評価方法：Group Presentation(25%) Individual Written Assignment(25%)

特徴：聞き取りやすい英語。留学生が多いクラスなので具体例を交えた説明が多い。授業は基本的にプロジェクターを使用し、オンライン上に課題などが掲載される。

アドバイス：レジュメを事前にオンラインで確認できるので、印刷して授業に持参するとよい。

### ③Guiding(60分/1コマ)(3コマ/週)

授業形式：講義型、グループワークあり

評価方法：Presentation(25%) Individual Written Assignment(60%) in-class test(15%)

特徴：②Tourism Studiesと同じ教授。授業の進め方はほとんど変わらないが、こちらの方がグループやペアで話し合う機会が多い。

## 4.3. 予習・復習・自習について

### ①Spanish B1.1

授業内で扱う内容は少ないが、復習として動詞の活用などを覚えるようにしている。また、メール添削をしてもらえるので、試験対策を始めようと考えている。

### ②Tourism Studies

レジュメを印刷し、分からない単語を確認したり、扱う内容についてざっと目を通し関連する事柄について調べてから授業に参加している。

### ③Guiding

前回の授業で扱った内容について復習してから授業に参加している。ガイドをするうえで大切なことなど覚える事柄がいくつかあるので、しっかり確認していきたい。

### ④自習

スキマ時間を使って、日本から持参した単語帳で勉強している。会話の中で使いたい表現が圧倒的に不足していると日々感じるため、文法書やフレーズ集なども持ってくれば良かったと思う。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

◎気候：朝晩と昼で温度差があり、体調管理が大切だと感じた。常に上着を持ち歩いている。また、日の入が20時を過ぎるので日本の感覚とずれが生じ少し体調に違和感がある。他の留学生との交流も大事だが、日本にいた時と同じような生活リズムを心がけようと思う。

◎生活：日本で使っていた100Vドライヤーを変圧器で使用しようと考えていたが、ワット数の確認ミスで持参したドライヤーが使用できなかった。急遽TESCOで購入することになった。

◎食事：外食をするとどうしても野菜不足になるので、スーパーでカット野菜を買ったり、ルームメイトと食材をシェアしながら自炊をしている。

### 5.2. 課外活動について

アイルランド到着日とその翌日は、ダブリンを観光した。大学のあるウォーターフォードは首都から離れていて首都に出るのが大変だと思っていたので、先にダブリンの雰囲気を知ることができてとても良かった。街自体は栄えている一方で道のいたるところで物乞いの人々を見かけた。また、細い路地や店が少ないエリアは雰囲気が悪く治安が悪そうだと感じた。

ウォーターフォードはダブリンと異なり小さい街で、1日で中心エリアは見て回れる。

スーパーでの買い物中にJapanese?と声をかけられ、マレーシアの留学生5人と知り合い、夕食に招待された。出会った翌日には一緒にCityCentreへ行ったり、本屋で日本のガイドブックを見ながらオス

スメの場所を紹介したりした。それぞれ中国やインドなど色々な地域の訛りがありスムーズな会話は難しいが、それも面白いと感じる。

### 5.3. 現在までの感想

大学のオリエンテーションが始まるまで英語を話す機会があまりなくて不安だったが、マレーシアの友達のおかげで留学に来た実感が少しずつ湧いてきている。彼らと話していると、自分は英文法を意識しすぎているのかなと思うことがたくさんある。これからは間違っても考え・気持ちを伝えることに重点を置いてコミュニケーションを取ろうと思う。

学習に関して、英語の授業を履修したかったが他の授業と時間割が重なり受けることができなくなってしまった。3科目だけなのでかなり時間に余裕がある。また、日本人の学生と一緒に受ける授業がほとんどのため、あまり英語を使えていないなど感じる場面も多々ある。自分の時間をどのように使うかがこれからの課題であるように思う。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	ウォーターフォード工科大学 (アイルランド)		
所属プログラム・ 学部・研究科	School of Humanities / Languages and Tourism		
報告書提出日	2019年11月4日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

現時点での TOEIC スコアが 665 点なので、留学終了後に TOEIC760 点以上を取得することを目標とする。スコア以外の面では、自分の考えを簡単な英語でも即座に伝えられるようになること、観光業についての理解を深めることを今回の留学の主な目的とする。特に会話面では、相手の話す文法や単語の意味を深く考えることなく、自然と内容が理解できるようリスニング力を身につけたい。学業面は、興味のある分野について学ぶことができるので、基礎知識を深めることと、文化や地域性による違いなどを日本と比較しながら学習を進めていきたい。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の目標として、授業内で発言をすることと、他学生ともっと交流することを挙げていた。授業面に関しては、即座に考えが思いつかず言いたいのに言えないもどかしさを感じることは多々あるが、少しずつ自分から発言をできるようになってきている。交友関係では、現地の学生よりも留学生同士と関わるが多い。一緒に出かける等仲良くなる一方で、自分の消極的な性格もあってなかなか話が続きずもって殻をやぶらないといけないと強く思う。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

今月はグループプレゼンテーションがあるので、それに向けてグループメンバーと話す機会を増やしたり、自信をもって発表を行う準備を行ったりしたい。また、先月は自分の部屋にいるときに携帯をいじることが多く英語から離れてしまっていたように感じたので、空いた時間も Netflix や YouTube を利用して常に英語を聞いている状態を保ちたい。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

##### ①Spanish B1.1

授業評価の Written は課題提出ではなく、授業内テストだった。テスト内容は、文法の確認と学んだ文法を用いた 80~100 字のエッセイを書く。準備をしておけばテスト自体はそれほど難しくはないが、ス

ペイン語でエッセイを書く習慣がないためテスト勉強が大変だった。

### ②Tourism Studies

Individual Written Assignment が難しく苦戦した。アイルランドの観光業に関する資料を読み、与えられた問いに答える課題で、自分で観光戦略を考える問題もあった。留学先で初めて観光業について学んだため、授業だけでは理解が足りず、個人的にインターネットで調べる等授業外学習が必要だった。また、授業が進むにつれて内容が観光業の基礎からアイルランドの観光事情に重点を置くようになり、地名や企業名など聞き慣れない単語が多く難しいと感じることが多い。

### ③Guiding

Presentation では、自分に関する事柄をテーマにパワーポイントやメモなしでの 5 分間の発表を行った。事前に準備をしていたため、緊張はしたがスムーズに発表することができた。授業内容は理解しやすく、出席者が少ないので発言もしやすい環境。

## 2.2. 予習・復習・自習について

### ①Spanish B1.1

授業で学んだ動詞の活用を分かりやすいように改めてノートにまとめるようにしている。先生のメール添削を利用して、ショートエッセイを書き、何度も繰り返し練習をしている。また、過去のテストを復習して次に役立てている。

### ②Tourism Studies

レジュメを見て分からない単語を調べてから参加することによって、授業に参加しやすくなったので継続している。内容が少し複雑になってきたので、要点をまとめたノートづくりを心がけている。

### ③Guiding

自分の選んだスポットの観光情報や、そのスポットにガイドとして行った時の仮スケジュールを組むことが課題になっているため、授業の復習は課題に役立つことを抜粋して理解を深めることに重視している。

## 2.3. 語学力について

約 2 か月の間で少しだが伸びたなと実感するのは、リスニング。留学当初はお店での注文すらまともにできなかったけれど、今は初期に比べて店員さんから聞かれたことに答えられるようになっている。また、海外の映画や動画などを見ている聞き取れるワードやフレーズが多くなっていて嬉しい。その一方で、相手から何を聞かれているか分かっていても自分の伝えたいことがうまく言葉にできずもどかしい思いをいつもしている。簡単な単語でいいから話そうと気を張ると余計に話せなくなってしまい、自分から話すことに躊躇いを感じてしまうことが多々ある。残された留学生活が短くなってきているので、少しでもこの悩みを解決できるように早く自分なりの解決策を見つけていきたい。



### 3. 生活について

#### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>寮は5人部屋で私含め4人が日本人、途中から現地の学生が1人他の部屋から移動してきた。他国の学生との寮生活を期待していたので、日本人が同じ部屋にまとめられてしまったことが残念だった。ルームメイトのアイランドの子は、料理の時以外はあまり部屋から出てこず、食事も部屋でとっているため、会ったときに軽く話すくらいしか関わりがない。もっと交流ができる環境が良かったというのが本音である。</p> <p>自分の部屋はバス・トイレの電気がつかないのと、窓がうまく閉まらないことが欠点である。レセプションに伝えたが寮のレセプションはあまり対応が早くないので、帰国前に修理されるかどうか分からない。</p>	

#### 3.2. 課外活動について

<p>10月半ばにイギリスに旅行に行き、イギリスの大学に通っているいここに会った。もう滞在3年目になるので、どんな学習・生活をしているのか、進路について話を聞いたり相談に乗ってもらった。同じ英語圏に留学をしている人の話を聞けることはとても刺激になり参考になった。</p> <p>10月末の1週間はReading weekという休暇だったので、日本人の友達2人とダブリンと北アイランドへ行った。初日はアイランドの友達も一緒に観光をし、3日目はメキシコの友達が合流した。意識して英語を使って会話をしようとするが、話題がつかると沈黙になってしまいどうしたら会話を続けられるかたくさん考える機会があった。</p> <p>また、ハロウィン期間はハロウィン発祥の地ということもあり、イベントが多くあった。留学生対象のハロウィンパーティーがあったので参加してみたり、野外イベントに行ってみたり、海外ならではのイベントを体験することができて楽しかった。</p>
--

#### 3.3. 現在までの感想

<p>留学当初から感じているが、1週間の休暇があつたり自由な時間が多かつたりと、時間をどう使うかが留学生活の大事なところだと常々思っている。また、英語でのコミュニケーションの際に同じような相槌ばかり繰り返してしまうので、もっと様々な表現方法を身につけたいと思う。</p> <p>プログラム終了日が予定していたよりも早まりそうで、残りの期間が約1か月になっていることに焦りを感じている。約4か月で急速に英語力が伸びるとは思っていないが、その限られた期間でどれほど自分の力を伸ばしていけるのか、変化がないのではないかと最近是不安でいっぱいである。帰国後に後悔をしないように毎日大切に過ごしていきたい。</p>
--

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	2 年次
派遣先大学 (国)	ウォーターフォード工科大学 (アイルランド)			
所属プログラム・ 学部・研究科	School of Humanities/ Languages and Tourism	履修言語	英語	
留学期間	2019年9月～2019年12月			
報告書提出日	2020年1月15日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Semester 1	9月9日 ～12月7日 (13週)	12月13日 ～12月23日	初めのオリエンテーションで履修登録に関する説明がある。オンラインでシラバスを確認し、オンラインで登録。出国前に提出してある履修計画書と異なる科目の履修も可能。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Semester 1	Tourism Studies	36時間	火曜日に1時間、木曜日に2時間。内容は、観光客の定義、観光の歴史、経済や科学技術が観光業に与える影響、アイルランドの観光業、今後の課題についてなど。中間課題として1500字のレポート、15分間のグループプレゼンテーションがあった。期末試験は、記述試験。対策として授業資料の要点をまとめたノートを作成した。内容によっては日本のサイトで理解を深めてから学習に取り組んだ。
		1(時間/回) × 3(回/週) × 12(週)	
Semester 1	Guiding	36時間	水曜日に3時間。内容は、ツアーガイドの仕事や役割、ツアー作成のための知識など。授業で学んだ知識を使って5分間のスピーチをする試験があった。中間課題として、自分が選択した場所のツアープランを作成する課題があった。期末試験は、パソコンを使用したマーク・記述試験。Tourism Studies
		1(時間/回) × 3(回/週) × 12(週)	

			同様に、要点をまとめて対策を行った。
Semester 1	Spanish B1.1	36 時間	火曜日に 2 時間、水曜日に 1 時間。内容は、点・線過去、現在・過去完了形、未来形、比較級、身の周りの物・好きな物についての説明、紹介文作成など。2~3 单元ごとに試験があり、期末試験は全範囲の筆記試験と 5 分の面接試験。メール提出の最終小課題があった。対策として、先生にスペイン語の添削を依頼したり、返却されたテストを次のテストに向けて繰り返し解いたりした。
		1 (時間/回) × 3 (回/週) × 12 (週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

「観光学」という専門科目に関する授業を履修していたので、専門用語の知識不足が大きな壁だった。英語を聞き取ることができても単語の意味が分からないために理解に時間がかかることが多く、毎授業前の予習は必須であった。観光戦略を考える課題レポートが課されたときは、予備知識がほとんどなかったため、観光戦略の立て方について調べてから課題に取り組むなど、自分なりの工夫をした。また、授業ノートのまとめやレジメを参考に授業内に理解できなかった点を中心に復習をした。スペイン語の授業は、先生がメール添削を行ってくださったので積極的に活用して学習をしていた。

### 1.4. 語学力について

留学前・初期は長時間英語を聞く際に集中力がもたず、リスニングに苦手意識があったが、留学を終えた今は英語を聞くことへの抵抗がなくなったように感じる。友達とのコミュニケーションや授業中の発言などでは、なかなか自分の考えが伝えられず馴染めない時期もあった。しかし、分からないことは分からないと伝えたり、聞き取れなかったら聞き返すなど基本的なことを改めて意識してからは、スムーズにコミュニケーションをとることができたり、話すスピードをゆっくりにしてくれたり分かりやすい英語を使って話しかけてくれるようになり、英語を話すことに前向きになれた。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

観光に関する授業を受けることが初めてだったため不安が多かったが、自分の興味のある分野なので楽しんで勉強に励むことができた。難しい課題もあったが、調べたり考えたりするうちに自分の関心も高まっていった。卒業後の進路について悩んでいたが、観光系の仕事に就きたいと改めて思うきっかけになった。また、スペイン語の授業は、留学前に神大で習った单元と新しい单元の両方を学ぶことができたので、復習と予習のバランスがちょうど良かった。神大の授業ではスペイン語を話す時間がほとんどなかったが、留学先では話す機会もあり、実践的な学習ができたと思う。

英語力の成果としては、リスニング力が身についたように感じる。アイルランドのアクセントは非常に聞き取りづらく初めは苦勞したが、次第に耳も慣れ、理解できるようになっていった。また、スピーキングに関しては、中学レベルの英語で会話はできると思った。ただ、語彙が足りないと感じたので、帰国後は語彙を増やすことを中心に英語を勉強していきたい。

## 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

授業で先生から質問を投げかけられたときに、考えがまとまっても発言するのをとまどってしまうことが多くあった。もっと積極的に話すようにすればよかったと後悔している。英語を話せる機会が目の前にたくさんあるのに、自分からそれを無駄にすることが留学生活で一番よくないことだと思う。「単語でもいいから話す」習慣を、留学前の英語授業内から身につけておけば、留学先で苦労することは少なくなるのではないかと思う。

## 2.3. 留学生活で得られたもの

最も得られたものは、問題解決能力である。新規提携校だったため、寮の手続きをはじめとし履修登録等に関する情報が全くなく、すべて自分で調べたりメールで聞いたりする必要があった。現地のメール対応は返信が届くまでに時間がかかるので、手続きがうまく進まないことも多々あった。そういったなかで、自分で調べれば分かることと尋ねなければ分からないことを判断して処理することが重要だと学んだ。また留学当初は、質問をするときに英語でどのように言うのか事前に言葉を考えてから人に尋ねるなど、ひとつのことは行うにも時間がかかっていた。しかし、慣れていくうちに分からないなりに進んで英語を使おうという気持ちになることができ、積極的に取り組めたように感じる。異文化理解の面では、今まで関わる機会がなかったムスリムの友達ができ、自分の中にあったムスリムのイメージを変えるきっかけとなった。教科書等で学ぶだけでは分からないことが多くあると学んだ。

## 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学生活は時間が限られているので、自分からどんどん動いて経験を積むべきだと思った。勉強だけでなく、現地で仲良くなった友達との交流や、旅行、どんなことでも良いから時間を無駄にしないような生活を送るよう心掛けたほうが良い。また、ひとりの時間は、映画を英語で見たり、カフェで勉強したりするなど、常に英語が近くにある空間をつくるのが英語力の向上につながると思う。私は、ひとりの時間をあまりうまく使えず帰国してからあの時〇〇していれば・・・と思い返すことがあるので、これから留学へ行く方には是非ひとりの時間までも意味のあるような生活をしてほしい。また、それと同時にリスニング力をもっと高めてから留学すればよかったと思う。現地についてすぐリスニング問題に直面し、英語が聞き取れないことで授業中にグループの会話に交ざれないことがあった。普段勉強しているアメリカ英語とアイルランドの英語では単語の繋がり方や発音に少し違いがあるため、余計に難しく感じた。加えて、早口な人が多いので、さまざまな英語に対応できるようリスニング力を出発前に身につけておくことが大事だと思う。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月9日

所 属	外国語学部	英語英文学科	2 年次
派遣先大学	ウォーターフォード工科大学		4 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	住居形態の詳細を教えてください。	アイルランド人1名・日本人4名の5人部屋、バストイレ付個人部屋(約7畳)と共同リビング・キッチン
3	入居時手続き	海外送金で家賃、デポジットを支払い、学生寮の受付で鍵を受け取る
4	費用(月額)	517.5 (€) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	デポジットと共に海外送金で事前支払い
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	徒歩 10 分圏内にスーパーが 2 つ。徒歩約 15 分で街の中心地にいける。店はあまりなく落ち着いた環境。
9	アクセス	大学から約 2km、徒歩約 30 分、学生寮からシャトルバスが出ているが定員に限りがあるのと、時間通りに来ないので徒歩がオススメ。
10	留学中の住居に関して アドバイス	大学から少し離れているが、部屋や寮全体の清潔度やレセプションの対応が良いので住みやすいと思う。

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(THREE というキャリアの SIM カードを購入した)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

### III. 留学費用について

諸経費 (1 ヶ月の平均)		
1	宿舍費	517.5 (€) /月
2	食費	200 (€) /月
3	交通費	70 (€) /月
4	通信費	20 (€) /月
5	娯楽費	60 (€) /月

6	図書費	0 (€) /合計
7	学用品 (教科書など)	8 (€) /合計
8	被服費	110 (€) /合計
9	医療費	0 (€) /合計
10	雑費・その他	60 (€) /合計

#### 上記以外にかかった大きな金額の内訳

11	出願料・宿舍デポジット	300 (€) /合計
12	ビザ申請関連費	300 (€) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	183,980 (円) /往復
14	留学全日程に要した総額 (概算)	約 88 万 (円) /合計

#### お金の持って行き方

15	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 5 万円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : ) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (マルチカレンシーキャッシュパスポート)	
16	現地で銀行口座開設	してない
17	お金に関するアドバイス	多くの場所でクレジットカードが使えるため現金はあまり必要ないが、バス利用時は現金しか使えない。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	B19 プラン (4 か月分で 42,250 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	風邪薬。天候の変化が激しく体調を崩しやすい。

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
衣類(秋・冬服各 4 着、ボトムス 4 着、アウター 4 着、下着、靴下、靴 2 足)、バス用品、タオル 2 枚、化粧品、ドライヤー、ハンガー 3 本、パソコン、USB、モバイルバッテリー、変換プラグ、マイ箸、日本食(インスタント味噌汁、お菓子等)、単語帳	
2	現地で購入したもの
セーター 2 着、ドライヤー(持参した物が使えなかったため)、水筒	
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
小さめの洗濯物用ピンチハンガー、日本食調味料、	

#### VI. 留学先で困ったこと

デポジットシステムをよく理解していなかったため、レセプションとの話がうまく噛み合わないことがあった。寮の電気・水が止まることが頻繁にあり大変だった。
--

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

衣類に関して、ジャージやスウェットで登校する学生が多いので華美な服はあまり必要ない。また、雨が頻繁に降るので防水アウターは必須。(布地コートよりもダウンジャケットの方が良い。)通学等徒歩での移動がメインになるので動きやすい靴が適している。洗濯に関しては、1 回につき 5 kg /8€ で洗いから乾燥機にかけるまでスタッフがやってくれるが、費用を抑えるために手洗いをすることをオススメする。寮生活については、毎週月・水曜日にパーティーをする学生が多く夜中まで賑やかなことがあるので、気になる人は耳栓などを用意した方が良い。
---